

NEWS LETTER

架け橋ひろば

代表コラム

～福祉と人権の未来を語る～

愛知にみらいカレッジを！

——150人の思いが動かす新たな一歩——

一般社団法人 未来への架け橋 代表理事 長谷川正人

去る7月13日、「愛知に学びの場を拡げる会」主催の講演会にご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。当日は150名を超える方々にお越しいただき、テーマへの高い関心と社会的な必要性をあらためて実感いたしました。



主催者から届いたアンケートには、多くの切実な声と希望が綴られており、胸が熱くなると同時に大きな責任を感じました。

「配慮という名の排除に心が折れそうだったけれど、少し希望を持ってました」「福祉しか選べないと思っていたが、学びの選択肢があると知って未来が広がった」——そんな言葉がいくつも寄せられました。就職か福祉かという二択の中で、学ぶことすら諦めさせられる現状が、どれだけ多くの若者と家族の未来を閉ざしてきたか、痛感しました。

とくに印象に残ったのは、「18歳以降の学べる環境を整えば、幼児期や学齢期ももっと安心できるはず」という福祉関係者の声です。人は「今」のためだけに学ぶではありません。未来を描き、歩み続ける力を育てるために学び続けるのです。

また、「高校を出たらすぐに働くのが当たり前と思っていたが、息子にも青春があつていい」といった言葉も寄せられました。みらいカレッジのライドショーや利用者さんの動画から、「学びながらゆっくり成長し、自分らしく働く」という新しいライフステージの可能性を感じていただけたことは、大きな励みです。

多くの方が「愛知にぜひみらいカレッジを」と願ってくださいました。その思いを真摯に受け止め、法人内で早速検討を進めてまいります。教育も福祉も、その人の人生を支えるためにある。ならば18歳以降の「学び」もまた、誰にでも開かれているべきです。

これからも皆さまと共に、声をあげ、つながり、希望を形にしていけます。一人ひとりの願いが未来をひらく鍵になると信じて。

郊外行事：初めての中華料理

初めて食べる中華料理屋さんに行ってきました🍜

「どんな料理が来るかな？」

「坦々麺食べたことないけど、辛いかな？」

「こういうの、食べたことないな。これにしよう。」

等、事前に写真を見ながら食べたいものを選び、
予約完了！！

いざ！来店！

皆さん料理が来るのを、ワクワク！ドキドキ！

待った後は、みんなこの笑顔🍀

最後までおいしくいただき、大満足。

貸し切りにしていただいた林林さん。
ご協力ありがとうございました。

宇美キャンパスの
活動はこちらから



MIRAICOLLEGE_UMI



行事：納涼祭初開催！カフェ体験

7月21日(祝)に納涼祭を開催しました！

企画から運営までをどんな風にやりたいか??

いつもの形で話し合い、暑い夏を吹き飛ばす、涼し気なカフェをOPENする事になりました。

アテンドする利用者さんは浴衣姿で働きます。少し遅いけれど織姫と彦星もきっと許してくれるはず…と、料理が出来上がるまでの間に、願い事を書いてもらい笹に飾ってもらいます。4月から本格的に始動した三島キャンパスですが、その様子を展示とスライドで紹介し、笑顔と緊張でお客様の来店を待ちます…。

開店と同時に**満員御礼！**インスタ効果もあり利用者さんご家族、関係者でいっぱいになりました。

最後は練習したダンスで締めくくり大成功で終わる事が出来ました。

ご来店ありがとうございました！

いらっしゃいませ！



MIRAICOLLEGE_MISHIMA

三島キャンパスの
活動はこちらから

地域活動：清掃ボランティアに参加！

7月某日、成田市内にある特別養護老人ホーム「杜の家なりた」さんにお邪魔し、施設清掃のボランティア活動をさせていただきました。開所して初めてのボランティア参加ということで、全員緊張半分、楽しみ半分といった様子。施設へ到着後、職員の方から掃除の仕方についてレクチャーを受けていざ本番！

今回のミッションは「窓際の拭き掃除」練習を思い出し、固くぞうきを絞り、サッシの部分を入念に拭きました。時折施設の利用者様に「がんばっててえらいねえ」と声をかけられ、はにかむ一同。就労に向けて、貴重な活動をさせていただきました！

最後に改めて、今回ボランティア活動を受け入れてくださった「杜の家なりた」の皆様、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。



MIRAI COLLEGE_NARITA

成田キャンパスの活動はこちらから

学びの現場から ～こんな授業やっています！～

宇美キャンパス：お仕事紹介。

今回は、宇美キャンパスでの一日の活動をご紹介します。

宇美キャンパスでは、所内で作業を行う「チャレンジ班」と、企業に出向いて作業を行う「出向班」の2つのグループに分かれて活動しています。

「チャレンジ班」では、チラシ重ねやシール貼り、封筒の封入など、企業さまからいただいた様々な作業に取り組んでいます。

「出向班」は、物流倉庫や金属会社など2つの企業さまに出向き、作業場の一角をお借りして箱作りや台紙折り、金属部品の数を取るなどの作業を行っています。午前と午後、それぞれ目標を立てて日々取り組んでいます。

毎月一回の工賃日を楽しみに皆さん頑張られています。



三島キャンパス：アドバンスコース NMさん

Q 未来カレッジに初めて来たとき、どんな気持ちでしたか？

A 最初はとても不安でした。でも、カレッジ全体の想いや方針を聞くうちに、「ここならきっと大丈夫」と思えるようになりました。

Q 未来カレッジで好きな時間はいつですか？

A 休み時間や、クラス全体で行う活動(余暇活動や地域活動など)の時間が好きです。みんなが楽しそうにしている姿を見ると、自分も自然と楽しい気持ちになります。

Q 自分の変化や、以前よりできるようになったことはありますか？

A 人の顔を見ながら向き合って話せるようになりました。以前は、話を聞いていても顔を見られず、口数も少なかったのですが、少しずつ変わることができました。

未来カレッジでどんな風に過ごしたいですか？

残りの2年間で、悔いのないように過ごしたいです。これまでは、自分の「やりたいこと」を素直に言えず、後悔ばかりしてきました。でも、このカレッジに来てからは、「こんなことをしたい」「みんなでここへ行ってみたい」「こんなことを企画したら楽しんでもらえるかも」と思えるようになりました。私が毎日

カレッジに通えているのは、三島キャンパスの皆さんがいてくれるからだと思います。



“できないをチャンスに。支援も広報も丁寧に。”

成田キャンパス 生活支援員 馬越 峻さん



今回ご紹介するのは、支援業務に加え、事業所の広報活動全般も担当しているスタッフさんです。4月からスタートした生活介護事業に携わり、日々の支援や教材づくりに加えて、SNS運用や投稿コンテンツの企画、動画編集なども行っています。

大学では「特別支援」について学び、「誰かの力になりたい」という思いから障害者福祉の道を志しました。児童発達支援での経験を経て、障害のある方のキャリア形成に関心を持ち、現在の仕事に就いています。

仕事で大切にしているのは、「できない」ことをチャンスと捉える姿勢です。苦手な作業や、他人と比べて自信をなくす瞬間もありますが、支援者として「できない」経験があるからこそ、同じように悩む人に寄り添えます。努力してできるようになったことで、その経験やノウハウを伝える力がつき、助けを求める声にも気づきやすくなります。だからこそ、「できない」ことも前向きに受け入れるマインドを大切にしています。

支援の中では、コミュニケーションの一環としてそっと肩をもむと、「気持ちいい～」と笑顔を見せてくれる利用者さんがいて、その表情に心があたたかくなる瞬間もあるといいます。

今後は成田キャンパスが「安心できる場所」と信頼してもらえるよう努め、その魅力をより多くの方に発信していきたいと語ってくれました。

最後に、地域の皆さまやご家族の皆さまへ――

「いつも活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今後も目の前の利用者さんを大切に、全力で支援に努めてまいります。」

愛知の地域の皆さまの声

講演会で訪れた愛知県の皆さまからアンケートを通じて寄せられたご感想をご紹介します。いただいたお声を通して、地域で求められていることや、これからの可能性を一緒に考えるきっかけとなれば幸いです。

～保護者～

今の日本でできることを模索され、福祉事業型カレッジの運営やインクルーシブキャンパスを目指す長谷川代表がいらっしゃることが、心強く私の希望になりました。我が子に障がいがあると分かったとき、子どもに申し訳なく思ったことの1つが、大学時代の青春を謳歌させてあげられない社会でした。私にとって大学時代は自分づくりをしたかけがえのない自由な時間でした。あの時間を障がいのある子どもにも作ってあげたいということがはばかれる社会に障害を感じます。当たり前のお声と言ってもらえる日本になってほしいです。

～学校関係者～

・愛知では18歳以降の学びについては閉鎖的で、支援学校高等部卒→就職がスタンダードとなっています。そんな中、「学び」から自立や未来を切り拓くことが大切、必要であると講演され、改めてそう思いました。

・現在の知的の子どもの就職に関してと思っていたが、大学進学を目指す素敵な未来の話だったので、とても勉強になった。講演者が目指す未来が訪れてほしいと切に思った。

～福祉関係者～

・将来を本人が考えるとき「カレッジ」が選択肢の1つになると、彼らの未来は広がると思うので、多くの方が学びの場を拓ける活動に参加し、親御さんだけでなく福祉現場の職員も関わっていただけるといいなあと思いました。

・教育現場の障害の理解、伴奏つきの支援があれば無限の可能性があるということを知ってもらいたい。「学びの場」の必要性を知ってもらいたい。愛知にも是非カレッジを！

～次号では宮城県の地域の皆さまの声も紹介させていただきます～

No.3：宇美キャンパス 生活介護 Kさんご家族

重度の障害があるので預かってもらえるだけでも有難い……そう思い、かつて1年間、入所施設へ預けたことがあります。そこは「手のかかる人たちだから、支援者が管理しやすいように安全に見る」—そう感じました。偏食があるので配慮してほしいと伝え、お腹が空いたら食べるようになる—と言われましたが、1年間で体重が10kg減り、生理も止まってしまいました。

「この選択は間違っていた!! 何とかしなければ……。」子どもはまだ30代。この先、これで良いのか。親は年々老いていく。「今のうちに、この子らしく生きていける場所を探す。探し出す!!」そう思い、色々な方を介して、ワークセンター宇美（現在のみらいカレッジ宇美キャンパス）とブルーム（グループホーム）へ辿り着きました。第一印象は、玄関が施錠されておらず開放的な環境で、地域行事にも参加している場所だということ。おそらく「区分6」の大変な子が来ると思われたでしょうね。

こちらでお世話になって、一番有難かったのは、この子の持っている能力を価値あるものとして評価していただけたことでした。本人は「認められている場所」を得られたことで笑顔が戻ってきました。情緒が安定してきて、周りに対する視野が広がり、色々なことに挑戦したり、積極性が出てきました。

本当に、とても配慮のいる大変な子ですが、それでも価値ある者として尊重していただける場所に出会えたことに感謝しています。

管理者より

～キャンパス長のつぶやき～

三島キャンパス 管理者 中村 芙美子



日々、「もっとインクルーシブな社会をつくりたい」「障がいの有無に関わらず、誰もが生きやすい世の中を実現したい」・・・そう願いながら、私はカレッジの管理者として声を上げ続けています。そんな私によく聞かれる質問があります。

「中村さん、感動エピソードを教えてください！」と、少しはにかんだような笑顔でも、そんなに毎日ドラマのような感動ばかりじゃありませんよね、普通は（笑）…そう思うのです。けれど、ここ「みらいカレッジ」では、その“普通”が少し違うのです。

利用者のみなさんは、それぞれが抱える生きづらさを受け止めながらも、「みんなと一緒にやってみよう」「頑張ってみよう」というまっすぐな気持ちで、毎日を送っています。その姿に私は、日々心を動かされ続けています。まるで、初めて歩くわが子の一步を見逃さないように、初めて発する小さな言葉に耳を澄ますように…。そんな親心にも似たまなざしで、利用者さん一人ひとりの小さな変化や成長を、そっと、けれど確実に喜び合える毎日です。

この日々のなかには、「今」しかできないことがたくさんあります。経験は確かに力となり、成功も失敗も、そして悩んだ時間でさえも、決して無駄なものなんてありません。苦しいときは共に悩み、迷ったときは隣で考える。不安なときにはそっと寄り添い、「そばにいることしかできないけれど」と伝える。そして、小さな「できた!」を誰より早く見つけて、いっしょに喜び、時に涙し、心の底から笑う。三島キャンパスは、そんな場所です。…と、言葉で語るより、実際にその空気を感じていただくのが一番かもしれません。具体的な感動エピソードは数えきれないほどあります。ぜひ一度、三島キャンパスへお越しください。きっと、あなたの心にも静かに届く“何か”があるはずです。

最高の1枚

～今月のベストショット～

各キャンパスおすすめベストショット

成田キャンパス



行事
祭りの合間に上映会

宇美キャンパス



心温まる一コマ
友情

三島キャンパス



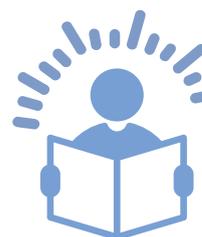
特別講座
着付け講座

読者の声

～架け橋ひろばを読んで～

第3号を読んでくださった方から届いた嬉しいお声を紹介いたします！

利用者さん、ご家族の方、職員さん、管理者さん、地域の方。それぞれのお立場からのホットな話題は、キャンパスでの様子がさまざま想像できてとても良いですね。「行動につながる小さな習慣」は自分も含めた多くの人々に役立つ内容ばかり。とても良い記事で「なるほど!」と考えさせられました。さすが管理者さん!次も楽しみにしております。



法人の思いや活動にご賛同いただける方のお申込みをお待ちしています



活動内容

➢福祉啓発活動

ニュースレターやウェブサイト、SNSを活用し、活インクルーシブ社会を目指して活動内容や成果を広く発信します。

➢会員間のネットワーク構築

会員間の意見交換や共同プロジェクトを行います。

【お申込み】

【年会費（1口）】



法人	特別会員：10万円
	正会員：5万円
	賛助会員：1万円
個人	特別会員：3万円
	正会員：1千円
	賛助会員：3千円

入会特典キャンペーン
代表理事 長谷川正人の
著書を1冊プレゼント！

7月架け橋の会ご入会者様
ご支援、心より感謝申し上げます。

- ・株式会社 入江感動経営研究所 様
- ・小松原 修 様
- ・宮入 卓也 様（※順不同）



※賛助会員のご紹介は、事前に掲載許可をいただいた方のみ記載しております。

お知らせ

～講演会情報～

代表理事・長谷川正人が以下の講演会に登壇しました。

いずれも150名以上の方にご参加いただき、障害のある方の18歳以降の学びや進路について悩むご家族や福祉・教育関係者の皆さまと共に、これからの可能性を考える貴重なひとときとなりました。主催の「愛知に学びの場を拡げる会」「宮城に学びの場を拡げる会」は、今後も活動を継続されていきます。ご関心のある方はぜひ両会のInstagramをフォローいただき、今後の活動を応援いただけますと幸いです。



2025年7月13日（日）愛知県半田市開催
障がいのある青年たちとつくる『学びの場』講演会



2025年7月27日（日）宮城県仙台市開催
知的障害のある人の18歳以降の学びの場
～宮城のインクルーシブキャンパスを考える～

講演依頼はこちらから

出張講演、オンライン講演会承ります。お気軽にお問合せください。

▶info@miraicollege.com

スケジュール 8月の行事・イベント予定

August

みらいカレッジでは、いつでもキャンパスをご見学いただけます。

「どんな雰囲気なのかな?」「活動を見てみたいな」など、少しでもご興味をお持ちの方は、どうぞお気軽にお問い合わせのうえ、お越しくださいませ。



Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
					1	2 地域活動(三島)
3 閉所日	4 買い物実践 「しまむら」 (成田)	5 進路フォーラム 企業と語る会 (三島)	6 地域活動(宇美)	7	8	9 地域活動(三島)
10 閉所日	11 サークル活動 カラオケ (三島)	12	13 閉所日	14 閉所日	15 閉所日	16 地域活動(三島)
17 閉所日	18	19 調理実習 (成田)	20 オンライン 説明会 郊外行事 (篠栗たぬき寺 (宇美)	21	22 授業参観 & 特別講座 (成田)	23 地域活動(三島) オープンキャン パス(三島)
24 閉所日	25	26 ボランティア (成田)	27 オンライン 説明会 地域活動(宇美)	28	29	30 説明会(成田) 余暇活動(三島) 応急処置の仕方 (宇美)
31 閉所日	 オープンキャンパス・説明会 お申込みは、左のQRコードまたはホームページから受け付けております。 ご不明な点がございましたら、お電話またはメールにてお気軽にお問い合わせ ください。					

読者アンケート

いつも「架け橋ひろば」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

皆さまからお寄せいただく感想やご意見は、私たちにとって大きな励みとなっております。

今後もより良いニュースレターをお届けできるよう努めてまいりますので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。



編集後記

広報部より

今月号では、納涼祭での笑顔や地域でのボランティア、普段の仕事の様子など、みらいカレッジの多彩な活動をご紹介しました。

紙面でも写真を通して様子をお届けしていますが、Instagramではより日常に近い雰囲気も発信しています。ぜひのぞいてみてくださいね。

宮城・仙台での講演会では、それぞれの主催の会のInstagramで講演について紹介していただきました。

“学びの場を広げたい”という想いを共有する活動が広がっていくことを、私たちも願っています。応援いただけたらうれしいです!

(宮入)



MIRAI COLLEGE



学びをチカラに。未来を拓く!
一般社団法人 未来への架け橋

<https://mirai-kakehashi.com/>

お問合せ
〒151-0061
東京都渋谷区初台1-51-1-709
TEL: 0120-861-821
E-Mail: info@miraicollege.com

